



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 平澤泰斗 幹事 小河節郎 会報委員長 矢島 豪 第2941回例会 2021.8.12 No.1601



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22 年度 RI テーマ

Serve to change lives

おやまのおうちデッキ製作

場所:フリーキッズビレッジ 時間:9:30~

認定NPO法人「フリーキッズビレッジ」が運営するリトリートハウス「おやまのおうち」で、ウッドデッキを製作する例会が開催されました。施設は高遠町三義の山中にある築150年の古民家で、隣に川が流れる自然豊かな場所にあります。

趣旨：障がいのある子や心に悩みのある子、その家族が自然の中で安心して過ごせる自然体験施設「おやまのおうち」にはスロープがなく、車いすの方の利用が難しかったので、スロープ付きのデッキを作り、車椅子の方が家族と一緒に、自然豊かな山里で過ごすことによりリトリート(心と身体をリラックスさせ、本来の自分に戻ること)ができ、地元の方とのふれあいの場ともなり、自然の中での生活を体験できるようにとの思いで実施されました。

当日は伊那市役所から会員の車に分乗し、約40分かけて到着。平澤泰斗会長、藤澤秀敬国際奉仕・財団委員長の開会の挨拶の後、同法人の宇津孝子理事長が会員を前に「ロータリークラブの皆さんのご協力に、心から感謝したい。子供たちにとって一生の思い出になるような場所を提供したい」とお礼の言葉を述べられました。



その後、会員15名で作業を開始。当会の寄付により、地元の大工さんが中心となって製作が進むウッドデッキで、木材のビス止めや柱の研磨、薪づくりなどに汗を流しました。長野日報と伊那ケーブルテレビが取材に訪れました。



おやまのおうちは、長く空き家だった民家を、同法人が2年前に取得。コウモリが住むほど荒れていたようですが、重厚な造りを活かしながら改装し、生まれ変わりました。

今後は、車椅子でも屋内に入れるようウッドデッキにスロープを取り付け、自然素材の塗料で仕上げるそうです。施設管理人の筒井淳文さんは、「たくさんの方々の支援でできていることを、子供たちにも伝えていきたい。皆さんもぜひ、ゆっくりしに来てください」と話していました。

